

足立政男教授略歴・主要著作目録

略 歴

- 大正四年九月七日 徳島県に生まれる
- 昭和十二年三月 京都府師範学校本科第二部卒業
- 昭和一七年九月 立命館大学予科卒業
- 昭和二〇年九月 立命館大学文学部史学科日本史専攻卒業
- 昭和二四年三月 立命館大学経済学部卒業
- 昭和二四年四月 立命館大学専門学校教授
- 昭和二七年五月 立命館大学経済学部助教授
- 昭和三四年四月 立命館大学経済学部教授
- 昭和三九年九月 海外留学（ヨーロッパ・アメリカ）
- 昭和四五年六月 立命館大学経済学部長
- 昭和四九年一月 京都新聞文化賞受賞（老舗の家訓と家業経営）

足立政男教授略歴・主要著作目録

立命館経済学(第二十九卷・第四号)

昭和四九年一月二日 経済学博士(立命館大学)

昭和五六年三月二日 定年退職

学界活動

社会経済史学会

著書

商業経済史

白杵書房

昭和二六年

明治経済社会の革命

立志社書房

昭和二七年

近代日本の形成

生島書房

昭和二八年

日本近代経済社会史(上)(下)

立志社書房

昭和二九年

近世在郷商人の経営史

雄渾社

昭和三〇年

千吉商店の歴史と経営

千吉商店(株)

昭和三二年

日本近代経済史

整風堂新社

昭和三三年

近世京都商人の別家制度

雄渾社

昭和三四年

歴史

整風堂新社

昭和三六年

日本経済史の研究

雄渾社

昭和三六年

日本経済通史

丹後機業史

老舗と家訓

老舗の家訓と家業経営

老舗と家訓

家業永続の秘訣

老舗の経営法とモラロジー

共著書

京の伝統と文様第一卷

京の伝統と文様第二卷

京の伝統と文様第三卷

京の伝統と文様第四卷

京の伝統と文様第五卷

京の伝統と文様第六卷

京の伝統と文様第七卷

経営理念の系譜

足立政男教授略歴・主要著作目録

雄 渾 社

昭和三八年

雄 渾 社

昭和三八年

京 都 府

昭和四五年

広池学園事業部

昭和四九年

東洋文化社

昭和四九年

港リサーチ(株)

昭和五〇年

広池モラロジー研究所

昭和五三年

美 乃 美 社

昭和五三年

右 同 同

右 同 同

右 同 同

右 同 同

右 同 同

右 同 同

右 同 同

昭和五四年

右 同 同

右 同 同

右 同 同

右 同 同

東洋文化社

昭和五四年

室町——その成立と進展

京都織物卸商業組合

昭和五四年

京都における老舗の経営理念

ベリカン社

昭和五五年

日本文化の歴史第九卷

小 学 館

昭和五五年

主要論文

氏姓時代における経済社会

立命館大学法と経済第一一〇号

昭和二四年

我国産業革命の一考察(一)

同 右 第一一三号

昭和二五年

我国産業革命の一考察(二)

同 右 第一一四号

昭和二六年

近世における山城農民の経済生活(一)

立命館経済学・第一卷第二号

昭和二七年

近世における山城農民の経済生活(二)

同 右 第一卷第三号

昭和二七年

近世における畿内在郷商人の高利貸資本について

同 右 第二卷第五・六号

昭和二七年

近世山城における在郷商人の商業経営について

同 右 第二卷第一号

昭和二八年

封建体制崩壊に関する一考察

同 右 第二卷第三号

昭和二八年

近世在郷商人の利貸形態

立命館大学人文科学研究所紀要第二号

昭和二九年

近世在郷商人の農地経営

立命館経済学第二卷・第三号

昭和二九年

近世都市近郊における農民生活

同 右 第三卷・第六号

昭和二九年

近世における都市の下糞利用による農業経営

同 右 第五卷・第二号

昭和三一年

近世京都商人の商業経営について	同 右 第五卷・第五号	昭和三二年
近世における日本海沿岸の帆船航運の状況について	同 右 第六卷・第二号	昭和三二年
近世後期における地方商業資本の発達とその活躍	同 右 第六卷・第三号	昭和三二年
近世における丹後縮緬産地問屋の利貸と土地集中形態について	同 右 第六卷・第四号	昭和三二年
近世丹後縮緬機業地における糸問屋の存在形態	同 右 第七卷・第一号	昭和三三年
近世京都室町における商業経営	立命館大学人文科学研究所紀要第五号	昭和三三年
近世丹後縮緬機業における株仲間の一考察	立命館経済学第八卷・第一号	昭和三四年
宮津藩の丹後縮緬業政策について(一)	同 右 第九卷・第三号	昭和三五年
宮津藩の丹後縮緬業政策について(二)	同 右 第九卷・第四号	昭和三五年
丹後機業地における労使関係について	同 右 第九卷・第六号	昭和三六年
近世丹後縮緬機業における飛脚制度について	同 右 第一〇卷・第五・六号	昭和三七年
イタリヤ経済の動向	同 右 第一四卷・第一号	昭和四〇年
近世京都商人の別家制度(一)	同 右 第一四卷・第四号	昭和四〇年
近世京都商人の別家制度(二)	同 右 第一四卷・第五号	昭和四〇年
近世における京都室町商人の系譜(一)	同 右 第一五卷・第二号	昭和四一年
近世における京都室町商人の系譜(二)	同 右 第一五卷・第三号	昭和四一年

近世京都商人那波家の江戸店経営とその没落

同右 第一七卷・第三・四号

昭和四三年

京都商人の商魂について(一)

同右 第一八卷・第二・三号

昭和四四年

京都商人の商魂について(二)

同右 第一八卷・第四号

昭和四四年

経営者の在り方(一)

同右 第二二卷・第二号

昭和四七年

経営者の在り方(二)

同右 第二二卷・第五号

昭和四七年

株仲間間の一考察

同右 第二二卷・第一号

昭和四八年

モラロジ―経済学原理の實踐的有効性について

モラロジ―研究第二号

昭和四九年

遠慮近憂の商法と用心の経営

立命館経済学第二三卷・第五・六号

昭和五〇年

無理をしない商法と経営

同右 第二四卷・第二号

昭和五〇年

老舗経営の原点と家訓

日本経営史講座

昭和五二年

事業経営の基盤は最高道徳である

モラロジ―研究第六号

昭和五二年

人づくりこそ企業づくりである

立命館経済学第二五卷・第五・六号

昭和五二年

老舗外与株式会社の歴史と経営哲学

同右 第二八卷・第三・四・五号

昭和五四年

老舗における消費者サイドの経営哲学

市邨学園大学記念論文集

昭和五五年

評論

京都人の生活と文化

京都市けんしゅう第一六号

昭和四六年

老舗の家訓から見た企業永続の秘訣

モラロジ―研究所道徳と経営第一三号

昭和四七年

企業 永続の秘訣
 京の商家訓
 のれん今昔 四山考(一)~(三)
 浪速型経営から京都型経営へ経営
 京都 都型 商法
 永続する 家業 経営
 家訓に見る 京都型 商法
 家訓
 京都老舗の家訓に学ぶ
 現代 商い 考
 老舗の 家訓
 家憲は 生きて いる
 安定経済時代における経営のあり方
 小売業を中心にして経営の在り方
 子孫にのこすもの
 顧客サービスに徹せよ
 事業最大の資産は 人
 敵しく育成される後継者
 経営者最大の仕事は 人材確保

足立政男教授略歴・主要著作目録

ダイヤモンド社 近代経営第一八巻第一号	昭和四七年
西陣グラフ第二〇七~二一八号	昭和四九年
白川書院 日本老舗第六三~六五号	昭和四九~五〇年
フィロソフヒーの探求第四号	昭和五〇年
広島経営サービスセンター 経営のしおり	昭和五一年
経営と道徳第三五号	昭和五一年
広島銀行 経営のこよみ	昭和五一年
白川書院 京都第三〇四号	昭和五一年
商工ジャーナル第三巻・第一号	昭和五二年
中小企業第二九巻・第一号	昭和五二年
中外日報社 人生ジャーナル	昭和五二年
ダイヤモンド第六五巻・第二〇号	昭和五二年
経営と道徳第九巻・第二号	昭和五二年
田辺経営・経営速報	昭和五二~五三年
広池学園 れいろう第二〇巻・第一二号	昭和五三年
田辺経営 経営速報第五七二号	昭和五三年
同右 第五七五号	同右
同右 第五七八号	同右
同右 第五八一号	同右

立命館経済学(第二十九卷・第四号)

二三四(六九六)

人づくりこそ企業づくり

同右 第五八三号

同右

不確定時代を乗り切る秘けつ

同右 第五八六号

同右

老舗の家訓から見た企業永続の秘けつ

同右 第五九〇・五九三号

昭和五三年

老舗のあゆみ

美乃美社 京都第四号

昭和五四年

老舗の家訓からみた京都商法の真髓

洋装社 洋装第一一月号

昭和五四年

京都商法を採る

田辺経営 Eagle No. 194

昭和五四年

京都にユニークな優良会社が簇生している原因は何か

田辺経営 Eagle No. 206

昭和五五年

書評

庄司吉之助著『明治維新の経済構造』

立命館経済学第三卷・第二号

昭和二九年

(昭和五五年一〇月末)